

# 第一礼拝次第

説教: 渡真利彦文牧師

前奏	
頌栄	540
主の祈り	
プレイズ	「HERE」 「慕い求めます」
聖書朗読	エフェソ1:18-19 (新約聖書p353)
祈禱	新生14
賛美	「心の目を開いて」
説教	
祈禱	聖歌195
賛美	
聖餐式	
献金	
報告	
頌栄	新生672b
祝禱	

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

# 第二礼拝次第

説教: 渡真利彦文牧師

聖書: 創世記1:1 (旧約聖書p1)

メッセージ: 「はじまり」

プレイズ: 「世のはじめ」「花も」

賛美: 新生14 新生131

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

## ファミリー礼拝

説教: 渡真利彦文牧師

聖書: ルツ記1:1～7 前半

メッセージ: 「ナオミはモアブの野を去って」

## ＜巻頭言＞

「夏の恵みを振り返って」

牧師 渡真利彦文

今日から9月が始まる。7月そして8月の恵みを振り返ってみたい。

7月にはサミル教会から20人の兄弟姉妹が来沖し、共に短期宣教の働きを担った。8月はファミリー・キャンプが北山荘であり、約60の方々が神の家族であることを体験した。私個人は、7月にバハマでの世界バプテスト総会、幼稚園年長組の一泊キャンプ、イスラエル聖書大学セミナー・8月は九州地区私立幼稚園連合会教師研修熊本大会、連盟中高生キャンプと続いた。その内容はセミナー・及び研修、そしてキャンプの2つに分けることができる。それぞれの働きは共に学びあうことであり、共に互いに仕え合う内容となる。みんなもそれぞれの歩みがこの夏にあり、祝されたチャレンジとなる機会であったと思う。私たち一人ひとりを導いてくださった主に心から感謝を表したい。

私たちは日々の達成感を喜び感謝することは大切なことである。同時に、永遠に至る達成感「救いの喜び」をどのように日々生きているだろうか。自分の救いの達成に留まらず、家族や友人知人の救いのために、どのように伝え、祈り、愛し、仕えているかを問われるのです。この夏、私たちはキリストにある永遠の命に至る救いをいかに分かちあってきただろうか。

「朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくなるないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。」(ヨハネ6:27)